

平成 27 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 1	言語学

【解答はすべて解答用紙に記入すること】

- I) 日本語の[s]と[ɕ]および英語の[s]と[ʃ]は、それぞれ別の音素であるか、あるいは同じ音素の異音であるかを英語の場合と日本語の場合に分け、根拠をあげて述べなさい。
- II) 言語の対照分析の方法とその意義について、具体的な言語の例に基づきながら説明しなさい。
- III) 次の日本語の能動文と受動文のペアはそれぞれ、一方が他方より自然である。どちらが自然であるか、また、それはなぜか。日本語の能動文と受動文の自然さについて、有生性や定性などの観点から述べなさい。
- ア) 子どもが太鼓をたたいた。  
イ) 太鼓が子どもにたたかれた。
- ウ) 大波が子どもをさらった。  
エ) 子どもが大波にさらわれた。
- オ) 道で知らない人が姉を怒鳴った。  
カ) 道で姉が知らない人に怒鳴られた。
- IV)  
次の用語の中から4つを選び、具体例を挙げながら説明しなさい。  
補部(complement), 異化(dissimilation), 連合関係／範列関係 (paradigmatic relation), 結合価 (valency), 民間語源 (folk etymology), 音節 (syllable), ダイグロシア (diglossia)